

## 6. 事前対策リスト

災害時の応急対応を効果的に行えるよう、①事前対策リスト（自助）と、②事前対策リスト（共助）を考えましょう。

②事前対策リスト（共助）は、第3回ワークショップの議論をもとに、災害対応の「特に優先度の高い活動」とそのための「事前対策」をテーマ毎に検討し、まとめました。

### (1) 事前対策リスト（自助）の考え方

▶ p27 参照

自助を普及啓発するために、災害に備えて日頃から家庭で準備しておきたい事柄をチェックリストにしました。いつも使っているものを災害時にも使えるように、分かりやすい場所に置いておくことが大切です。

### (2) 事前対策リスト（共助）の考え方

▶ p28 参照

#### 1) 「特に優先度の高い活動」の考え方

実際の災害では、限られた資源を特に優先度の高い活動に集中投下する判断が求められます。被害状況の把握とそれにもとづくその後の対応について、その優先度合いを考えます。

#### 2) 事前対策（必要資源）の考え方

優先度が高い活動を円滑に進められるように必要な備えを行います。活動テーマごとの事前対策リストを、以下の「人、モノ、情報、空間」の視点で考え、作成しました。

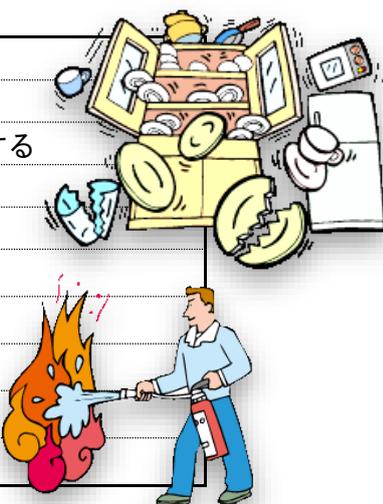
「人」は、人材や組織を育て、地区内外の関係団体と連携すること、住民同士が交流し顔見知りの関係になること等が大切です。

「モノ」は、救出・救護・搬送、消火等の対応に用いる資器材の配備、調達方法等を検討しておくことが大切です。

「情報」は、必要になる情報を整理し、情報収集・伝達の体制をつくり、情報連絡手段を準備し、訓練で動けることが大切です。

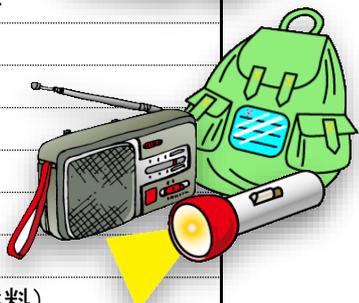
「空間」は、災害対応に必要な空間、安全な避難に必要な空間、災害に強い空間の整備、利用方法の検討等が大切です。

### (3) 事前対策リスト(自助)

<b>家の中の安全</b>	<input type="checkbox"/> 家具が転倒しないように固定する	
	<input type="checkbox"/> 耐震診断・耐震補強をする	
	<input type="checkbox"/> 寝室には家具を置かないか、寝床に向かって転倒しないようにする	
	<input type="checkbox"/> 玄関などの出入り口までは物を置かずに避難できるようにする	
	<input type="checkbox"/> ベランダの避難用の隔壁、避難ハッチ周りに物を置かない	
	<input type="checkbox"/> 家具の扉が揺れで開かないようにする（耐震ラッチなど）	
	<input type="checkbox"/> 家具のガラス扉などは飛散防止フィルムを貼る	
	<input type="checkbox"/> 寝室に靴やスリッパ、軍手（ガラスが飛散した場合に必要）	
	<input type="checkbox"/> ほうき、ちり取り（掃除機は停電時使えない）	
	<input type="checkbox"/> 消火器の設置場所と使い方の熟知	

<b>避難・救護</b>	<input type="checkbox"/> 安否確認用ステッカー	
	<input type="checkbox"/> ホイッスル（閉じ込め時に音を発するため）	
	<input type="checkbox"/> 災害用伝言ダイヤルなど家族の連絡方法の確認	
	<input type="checkbox"/> 応急医薬品（絆創膏、消毒薬、傷薬、包帯、胃腸薬、鎮痛剤、解熱剤、目薬、持病のある人は常備薬など）	

<b>水や食料</b>	<input type="checkbox"/> 飲料水；1人1日3リットルを最低3日分、7日分を推奨	
	<input type="checkbox"/> 水用携行タンク（飲料水の配給時に必要）	
	<input type="checkbox"/> 食料（レトルト、缶詰、インスタント食品、栄養補助食品、チョコレート等の菓子、最低3日分、7日分を推奨）	
	<input type="checkbox"/> 生活用水（飲料しない水）；風呂の汲置き、やかんやポットに水を入れておく	
	<input type="checkbox"/> 粉ミルク、離乳食（乳幼児がいる場合）、アレルギー対応食品	
	<input type="checkbox"/> ガスカセットコンロ、予備のガスボンベ	
	<input type="checkbox"/> ラップ（食器にかぶせて使えば洗わなくてよい）	
	<input type="checkbox"/> 紙皿、紙コップ、割り箸	

<b>避難生活用品</b>	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ（便袋）	<input type="checkbox"/> ガムテープ	
	<input type="checkbox"/> トイレットペーパー（余分に備蓄）	<input type="checkbox"/> ドライシャンプー	
	<input type="checkbox"/> ティッシュ（余分に備蓄）	<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ	
	<input type="checkbox"/> 懐中電灯, ランタン, マッチ, ライター	<input type="checkbox"/> マスク	
	<input type="checkbox"/> ラジオ	<input type="checkbox"/> 衣類	
	<input type="checkbox"/> 電池（余分に備蓄）	<input type="checkbox"/> 生理用品	
	<input type="checkbox"/> 毛布	<input type="checkbox"/> 紙おむつ	
	<input type="checkbox"/> 虫よけ用品	<input type="checkbox"/> 雨具	
	<input type="checkbox"/> ビニールシート（敷物、雨よけ）	<input type="checkbox"/> 新聞紙（防寒、燃料）	
	<input type="checkbox"/> 貴重品リスト	<input type="checkbox"/> リュック（物資の持ち運び用）	
	<input type="checkbox"/> 情報収集先リスト（自治体 HP 等）	<input type="checkbox"/> 防災マップ	

<b>便利なもの</b>	<input type="checkbox"/> ソーラーまたは手動充電器（携帯、電池用）	<input type="checkbox"/> 防災カード（住所、氏名、連絡先、既往症、通院先、薬アレルギー等）
	<input type="checkbox"/> 家庭用発電機	<input type="checkbox"/> ヘルメット・工具類
	<input type="checkbox"/> 蓄電池	<input type="checkbox"/> 公衆電話用10円硬貨

## (4) 事前対策リスト(共助)

### 1) 建物倒壊への対策

小テーマ	災害時、特に優先度の高い活動	事前対策
①安否確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族、近所の安否確認</li> <li>・要援護者の情報収集</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 住民（町会）名簿の作成 <input type="checkbox"/> 町会員以外への対応（個人情報等の壁）の検討（事前に個人情報の協定等） <input type="checkbox"/> 要援護者名簿の作成 <input type="checkbox"/> 学校関連名簿の確認
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被害状況の把握</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 報告内容を決める（氏名、安否、ケガ人数、負傷情報等）
②参集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況判断しながら参集</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 参集場所を事前に決める <input type="checkbox"/> 参集経路の確保
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災リーダーが町会事務所に参集</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 防災住民組織の緊急連絡体制の確立
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参集者による役割分担</li> </ul>	<input type="checkbox"/> スキルを持った人のリスト
③被害調査分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路上の瓦礫、火災発生等の情報収集</li> <li>・避難道路の調査</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 地域の危険度の把握 <input type="checkbox"/> 木密地域の調査把握（倒壊の恐れのある建物及びブロック塀の場所） <input type="checkbox"/> 被害調査分析体制の整備
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・倒壊家屋による要救助者の把握</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 要援護者名簿の作成
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡体制の確保</li> <li>・被害状況を連絡</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 報告体制を決める（地区幹事が中心で調査報告、マンションは各階に責任者を決める等） <input type="checkbox"/> 他の町会や学校長との連携 <input type="checkbox"/> 消防団との連携
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図化する（視覚的）</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 地域の地図の準備 <input type="checkbox"/> 消火栓の場所の準備 <input type="checkbox"/> 防災マップの活用
④活動体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難、救出救護、搬送等の準備</li> <li>・動ける人で役割分担（自衛消防隊を中心に）</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 支援者の確保 <input type="checkbox"/> 訓練等を通じて防災意識の向上
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資器材の搬出、調達</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 資器材置き場の確認
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食料の確保</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 3日分の備蓄
⑤区に報告要請	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被害状況を、公衆電話で報告</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 公衆電話設置場所の把握 <input type="checkbox"/> 各種連絡先リストの準備

## 2) 建物火災への対策

小テーマ	災害時、特に優先度の高い活動	事前対策
①被害調査、 情報収集	・被害情報の収集	□情報を収集する範囲等の役割分担 □情報を集約する場所の決定
②消火活動	・人を集める	□メガホンなどの準備
	・資器材を集める	□消火器、消火栓の場所を確認 □備品リストやマップの作成
	・初期消火	□消火訓練をする（啓発活動）
③救急救命 活動	・負傷者の応急手当	□医薬品の備蓄（薬局との連携） □応急手当の訓練 □医療従事者との連携（リスト化）
	・けが人の搬送	□搬送機器の備蓄（車いす、担架等） □災害時に開設する病院の確認 □防災訓練の実施と参加
④避難誘導	・避難誘導	□避難場所の把握
	・安全な避難場所の情報収集	□防災マップの活用 □避難誘導訓練
	・家族の安否確認	□安否確認方法の確認 □安否確認訓練

## 3) 要援護者への対策

小テーマ	災害時、特に優先度の高い活動	事前対策
①参集	・町会の避難場所に集合	□参集者リスト（昼、夜に分けて）作成
②活動体制の 整備	・情報収集（安否確認）	□ラジオ等の準備 □安否確認用旗の配備 □安否確認用リストの整備 □民生・児童委員による要援護者リストの集約 □要援護者リストの作成（障害者、独居高齢者等） □安否確認体制の検討
	・区に要援護者リスト開示要請	□区との連携
	・支援者の確保	□支援者リストの作成 （役立つ業種別、医療従事者や実務者） □防災訓練等、町会の行事を継続 □啓蒙活動（避難所はどこにあるか等）
③搬送準備、 救出・搬送	・救出搬送用資器材の調達	□備品リストの作成 □資器材の確認（リヤカー、車いす、簡易担架等）
	・消防団に要請	□消防団との連携（連絡先確認等）
	・救出・搬送	□怪我人への応急対応の検討 □搬送シミュレーション
	・要援護者に必要な物資の調達	□物資入手先の確認（常備薬・赤ちゃん用品はドラッグストア、水・食糧はコンビニ、他布団、衣類、トイレ等） □福祉事業所との連携

# おわりに

## (1) 地区防災対策に関わる「論点」

ワークショップの議論では、地区防災対策に関して参加者の意見が分かれたり、よい解決策が見つからない場合もありました。

そうした論点や悩みをテーマ毎に整理したのが下表です。今後とも、地域での話し合いのテーマとして、地域に合ったよい解決策を考えましょう。

テーマ	地区防災対策に関わる論点
①建物倒壊	<ul style="list-style-type: none"><li>・建物被害の把握方法（建物被害、家具の転倒、生き埋め等）。</li><li>・救出救護に携わる従事者の安全確保（体制、装備、情報提供等）。</li><li>・救出救護のための資器材の確保（調達先情報、事業所との協定等）。</li><li>・避難者が一部の避難所に集中しないための避難方法の検討（一時集合場所での方針決定等）。</li><li>・救出救助の活動ができるメンバーの増加方法（訓練等）。</li></ul>
②建物火災	<ul style="list-style-type: none"><li>・火災被害の把握方法（出火点、延焼方向等）。</li><li>・同時多発火災の場合の延焼阻止・避難の方法。</li><li>・避難路・避難場所の安全性の確認方法（火災延焼による避難支障等）。</li><li>・避難方法の代替案の確保（災害時の迅速な判断と避難者の誘導等）。</li><li>・道路（歩道）の大渋滞を避けるための避難方法の検討（一時集合場所での方針決定等）。</li><li>・消火器以外の消火器具の増加方法および、活動ができるメンバーの増加方法（訓練等）。</li></ul>
③要援護者	<ul style="list-style-type: none"><li>・安否情報の収集・整理・役割分担の方法（優先順位、行動手順等）。</li><li>・要援護者支援の担い手確保の方策（民生・児童委員、福祉事業所との連携等）。</li><li>・平常時における要援護者名簿の活用方法、「個別支援プラン」の作成方法。</li></ul>

## (2) 本マニュアルの活用方法

本マニュアルの活用方法として下記のことが考えられますので、地域の皆さままで進めていきましょう。

- ① 防災の勉強会、地域住民への防災教育・啓発
- ② まち歩きと防災マップづくり
- ③ 「被災・対応シナリオ」に沿った防災訓練の企画と実施
- ④ 「被災・対応シナリオ」に沿った組織体制の見直し
- ⑤ 様々な事業所や関係機関との連携
- ⑥ その他、「事前対策リスト」の対応、整備

今後は、この「仲宿地区防災対策マニュアル」をもとに、各町会・自治会等の地区特性に応じた「わがまちの防災対策マニュアル」を作成することで、より一層きめ細やかな、実効性のあるマニュアルが完成します。